

まちづくり意見募集(パブリックコメント)の結果公表

芽室公園再整備基本構想(案)に対して、住民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と町としての対応・考え方は下記のとおりです。

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

【意見募集結果】

案 件 名	芽室公園再整備基本構想(案)		
募 集 期 間	令和8年2月12日(木)～令和8年3月12日(木)		
意見の件数 (意見提出者数)	1件(1人)		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	0件
	参考	今後の参考とするもの	1件
	その他	意見として伺ったもの	0件
意見の受け取り	持参		0人
	郵送		0人
	ファクス		0人
	電子メール		1人

【意見等の内容】

ご意見	ご意見に対する考え方	取り扱い
<p>私は芽室町の郊外に住んでおり、日頃から愛犬とともに町内の公園を散歩しております。現在、芽室公園や南公園では、犬の同伴が「舗装された園路内のみ」に制限されているため、犬にとっても飼い主にとっても窮屈で、少し肩身の狭い思いをしながら利用しているのが現状です。</p> <p>つきましては、今後の芽室公園の再整備等において、せめて園路より外の範囲にも犬同伴可能エリアを広げていただけないでしょうか。子どもたちと同じように、犬や飼い主にとっても、動きが制限されない広いエリアが必要です。その際、犬エリアの地面には、尿などを分解・透過しやすい火</p>	<p>このたびは芽室町の公園整備につきまして、貴重なご意見と具体的なお提案をいただき、心より感謝申し上げます。</p> <p>現在、芽室公園や南公園の芝生広場では、小さなお子様からご高齢の方まで安心してご利用いただけるよう、衛生面に配慮してペットの立ち入りをご遠慮いただいております。</p> <p>これは特に、お子様が直接芝生の上で遊んだり座ったりする場所であることを考慮したものです。</p> <p>一方で、近年のアンケート調査や地域の皆様とのワークショップを通じ</p>	【参考】

山礫やゼオライトを混ぜた土壌や、ウッドチップなどを採用していただければ、衛生面や環境面でもより良い空間になるのではないかと考えております。

また、新たにドッグランの設置が計画されていると伺っておりますが、面積が少し狭いのではないかと懸念しております。十分な広さがないと、犬同士や利用者間のトラブルに繋がりがかねません。北海道内には、市営公園のドッグランとして 20 年以上継続している石狩市の「樽川公園」や千歳市の「はやぶさ公園」といった素晴らしい先行事例があります。面積や設計、運営ルールなど、ぜひこれらの施設を研究・参考にいただければ幸いです。

さらに考慮していただきたいのは、ドッグランはすべての犬連れ利用者が使用するわけではないという点です。他の犬が苦手な犬や、施設に馴染みのない飼い主も多く、利用者は全体のごく一部です。そのため、より多くの方が使いやすいドッグランの整備と並行して、ドッグランを利用しない飼い主でも、ただ犬と一緒にのんびり散歩を楽しめる「エリア」や「ゾーン」を増やしていただきたいと強く願っております。

ただ園路を歩くだけの現状から、ドッグランで遊んだり、木陰で立ち話をしたり、ベンチに座ってのんびり散策したりと、犬を連れている人もそうでない人も、同じように公園での多様な過ごし方を楽しめるようになることが私の願いです。土地の広い芽室町ならではの、人と犬の素敵な共有スペースを備えた公園ができることを心待ちにしております。

て、ペット同伴での散歩やドッグランの設置を求める声が多く寄せられていることも事実です。

この声にお応えするため、「芽室公園再整備基本構想(案)」では、芝生の保全とペット愛好家の皆様のご要望のバランスを取りながら、芝生広場の一部にドッグランを設置する方向で検討を進めております。

ドッグランの具体的な規模や設計については、皆様から寄せられたご意見、北海道内の先進事例である石狩市の「樽川公園」や千歳市の「はやぶさ公園」の取り組みも参考にしながら、以下の点に配慮して計画を進めてまいります。

1. 犬連れの方とそれ以外の方の双方が快適に過ごせる空間づくり
2. 芝生の保護と衛生面の両立
3. ドッグランの適切な規模設定と安全性の確保
4. 犬が苦手な方への配慮

整備には一定の期間を要しますが、町といたしましては、すべての利用者の皆様が気持ちよく過ごせる公園を目指し、慎重かつ丁寧に計画を進めてまいります。